

●●●●=必ず記入 ○○○○=計画に応じて該当するところを記入

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織（町づくり）》
- 2 単元名 『井原よいとこプロジェクト』（全55時間=実施時期：6月～2月）
- 3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

井原市の産業に携わっている人や観光地で働いている人たちと関わることを通して、その工夫や努力について理解し、取組についてまとめていくと共に、自分たちの生活や行動にいかすことができるようにする。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		井原市の魅力について話す。	井原町内に住んでいる人、そこで働いている人等から「井原市のおすすめスポット」について話を聞く。	集めた情報をもとに、どのような方法を用いれば、たくさんの人に伝えられるかについて考える。	「井原市のおすすめスポット」をまとめたポスターを作り、市内外の様々な所に貼っていただく。
引き出したい姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	井原市には様々な魅力が詰まっていることを自覚することができる。	年代や、職業等に関わらず、井原市には井原のことを大切に思う人がたくさんいることに気付くことができる。		
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>			校内の先生方にアドバイスをもらったことをいかして、ポスターをブラッシュアップすることができる。	
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>		どの世代の、どんな人に話を聞けばよいのかについて話し合い、インタビューを行うことができる。		市内のバス会社、市役所等にポスターを貼ってもらえるよう交渉する。
仕掛け・工夫	もの	綿花栽培を通して、井原市の名産品に気付くことができるようにする。	魅力発見事業を通して、美星天文台、中世夢が原、葡萄浪漫館について知り、もっと知りたい、伝えたい、という気持ちを育てる。		
	ひと	様々な世代や立場の人から話を聞き、ポスターに反映できるようにするには？という視点から、市内小中高等学校、地域の方、市役所の方々とお出会う。魅力を知るだけでなく、そこで働いている人の仕事や役割、想いなどに触れることができるようにする。			
	しごと（こと）				
アウトプットの工夫		ポスター制作の際には、学校内の様々な先生方からアドバイスをもらい、ポスターをブラッシュアップさせていった。外国語表記も必要と考えた班は、ALTの先生に、英訳をお願いしていた。情報を精査しながら、4種類のポスターを制作することができた。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

井原市立井原中学校 井原市立高等学校 岡山県立井原高等学校
 地域の方 井原市役所（企画振興課・観光交流課・井原市長） 葡萄浪漫館

◆単元のねらい・井原市の産業に携わっている人や観光地で働いている人たちと関わることを通して、その工夫や努力について理解し、取組についてまとめていくと共に、自分たちの生活や行動にいかすことができるようにする。

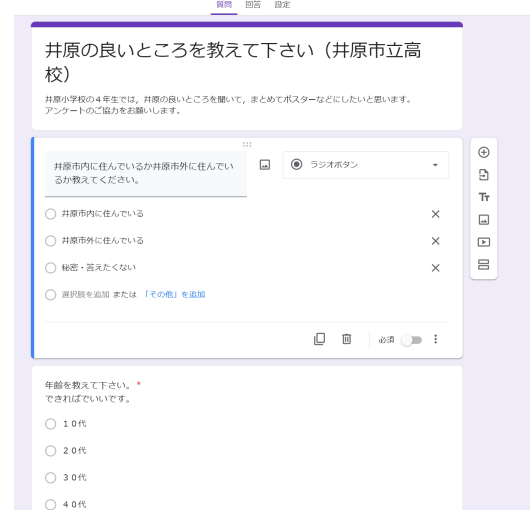


課題設定

井原市内の魅力について話し合う
 ○県立高校と綿花栽培をすることで、井原市の特産物について興味をもつ。
 ○ふるさと井原魅力発見事業により、井原市の魅力に再注目し、市内外にもっとPRする方法について検討する。

整理・分析

どのような方法で、井原の魅力をPRするかについて検討する。
 ○井原市の魅力について、各世代にアンケートをとることを考える。
 ○アンケート結果を踏まえた、ポスターを制作し、PRに使うことに決定する。



情報収集

アンケートを作り、集計する。
 ○井原市内の小・中・高等学校に依頼する。
 ○市役所で働いている人に依頼する。
 ○市長さんにインタビューする。
 ○企画振興課・観光交流課の方と話す機会を設ける（ポスターの掲示場所）



情報収集

地域の高齢者の方とふれあう
 ○地域の高齢者の方と触れ合いながら井原市の魅力についてのインタビューを行う。
 ○高齢者の方と関わる前に、社協の「高齢者体験」に参加し、みんなで楽しめる触れ合いの場を作る。

整理・分析

集めた情報を整理し、ポスターに載せるものを精査したり、レイアウトの効果について考える。
 ○4班に分かれて、ポスターの製作を行う。
 ○自分たちで集めた写真や情報を、著作権に気をつけながら検討する。



整理・分析

校内の先生方に、アドバイスをもらう。
 ○各班タブレットを使って、校内の先生方に、プレゼンテーションを行う。
 ○いただいたアドバイスをもとに、ポスターのブラッシュアップを行う。

まとめ・表現

ポスターを完成させる。

まとめ・表現

市役所の方に、ポスター掲示をお願いする。
 ○企画振興課・観光交流課の方々に、依頼をする
 ○バスセンターにも依頼する。
 ○できるだけ、市外の方の目にも止まるような場所に掲示できるよう工夫する。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○自分たちが住んでいる市の魅力について、再認識することができた。また、地域の高齢者の方や市役所の方々と交流し、話を聞くことで、様々な視点からポスター作りを行うことができた。また、大勢の先生方にプレゼンテーションを行い、アドバイスをいただくことで、レイアウトにも工夫がみられるポスターに仕上がった。
 △児童の主体性を重視して活動を行ってきたが、時間がかかりすぎた面もあった。時間のかけ方には課題が残る。
 ☆市長さんとの交流の中で、「小学生のアイデアをどんどん教えてほしい」という課題をいただいた。来年度の活動に、いかしていきたい。